

発達障害児の保護者支援

インクルーシブ保育現場での具体例を通して

発達障害(医学では神経発達症と呼ぶ)は、100人いれば少なくとも7~8人がそうであるといわれるほど、ありふれた存在である。その大部分は、学校に入る前に発見され、診断され、治療や支援がなされている。

かつては障害が早期発見されると、特別な場(療育センターなど)において特別な人(療育の専門家)が対応する方式が主であった。利用する側も、保育園や幼稚園ではなくそちらを選んで通わねばならなかった。しかし現代では、そのような支援の形態を一部に残しつつも、多くの発達障害の幼児はいつも通う保育園や幼稚園において支援がなされるようになった。多くの子どもたちと一緒にあそんだり学んだりしながら、障害に対処される。インクルーシブ保育と呼ばれる。利用する側にとっては、保育園などの身近な場で子どもへの障害対応がなされ、保護者の相談にもってもらえるため、利便性が向上した支援システムといえる。

しかし保育士の養成課程では、障害のある子への対応について深く学ぶ機会は必ずしも保障されていない。現実には、保育の現場で働くようになってから障害のある子に初めて出会う保育士も少なくない。さらに保育園では、家庭での養育などについて保護者を支援する仕事(保護者支援)が保育士に課せられる。しかし、保護者支援には専門的な知識と技能が必要であり、決して容易な仕事とはいえない。障害児と保護者に対する支援知識と支援技能を学習する機会が、実際には保育現場に任されている厳しい現実がある。

この講演が発達障害児のインクルージョンにあたる保育士の方々にとって、少しでも学びの機会になればと願っている。

講師 **清水康夫** 先生
横浜市総合リハビリター
ションセンター参与
児童精神科医師



日時 **12月4日(水) 18:30-21:00**
会場 **オンラインZOOM 限定**
参加費 **新医協会員1500円 一般3500円(資料代含む)**
定員 **90名** 先着順、締切は講演の1週間前とさせていただきます。

申込方法 メール(自動返信メールの内容に沿って)・FAXでお申込み後、
下記口座等に参加費をお振込み下さい。

ご入金確認後に受講票(ID、PW)等をお送りいたします。

郵便振替: 00110-4-193012 新日本医師協会東京支部

主催 新医協東京支部 〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-10-2-405

TEL: 03-3988-8387 FAX: 03-3983-6165

講演会専用E-mail: kouen@shinikyo.com HP: <http://shinikyo.com>



申込フォーム

当日の講演の録音録画
を禁止いたします。
オンラインでは
「顔の映り出し」の録音
番号と名前を
お控え願います。

..... 講演会申込書 各項目に を入れてください

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 10月16日(水) 運動発達と口の機能発達から | <input type="checkbox"/> 12月4日(水) 発達障害児の保護者支援 |
| <input type="checkbox"/> 10月31日(木) 子どもの心を育む | <input type="checkbox"/> 12月13日(金) 乳幼児の睡眠と食の大切さ |
| <input type="checkbox"/> 11月2日(土) 子ども・大人がともに育ちあう保育 | <input type="checkbox"/> 11月16・17日(土・日) 全国研究集会 (案内 申込書別途あり) |

氏名: _____ 職種: _____ 一般 ・ 会員

勤務先名: _____ 勤務先 Tel: _____

参加方法: 会場 ・ Zoom 連絡用 E-mail: _____

受講票の送り先: 自宅 ・ 勤務先 〒 _____

領収書: 要 ・ 不要 領収書宛名: _____

事前質問: _____